古町芸妓が秀でた芸を身につけた理由の一つに、優れた踊りの師匠の存在がありました。明治の初めの坂東・市山・市川の三流派が後に市山・市川の二大流派となり、芸妓はそれぞれの門下となって踊りを競いあいました。昭和5（1930）年、新潟市三業組合が結成され、昭和10（1935）年、古町花柳界の真価を世に問う芸道公演会「舟江をどり」を、当時新潟随一の規模を誇っていた「新潟劇場」で4日間にわたって開催し話題を集めました。

時代の変化によって芸妓もその数を減らしていきますが、昭和62（1987）年12月、新潟の企業約80社が出資して全国初の芸妓養成・派遣の株式会社「柳都振興株式会社」を設立し、現在に至る古町芸妓の育成と、もてなしの伝承に取り組んでいます。

平成16（2004）年、柳都振興（株）は芸能文化の伝承の取り組みを評価され、「ちいき経済賞」の「ふるさとスピリット賞」を受賞。平成15年には、芸妓に技を伝え続けてきた市山流が新潟市の無形文化財となりました。古町芸妓の歴史は、いまもとぎれることなく町に息づいています。

大正9年完成の「新潟劇場」（東堀通9番町）

四代目市山七十世師匠
（写真提供：藤村誠氏）

市川登模師匠

2010年10月、「全国路地サミット2010inNIIGATA」を三業会館で開催。全国から路地好きが集まって、大盛況だったのニャー。

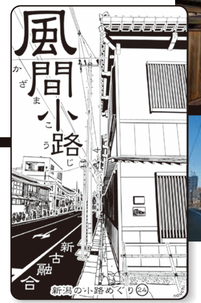
●坂内小路から続く

20 六軒小路（ろっけんこうじ）：江戸時代からの小路名であり、古町の東側から大川前までの長い通し小路であったが、固有名が付けられたころ大きな家が多く、家数が六軒であったことからこの名がついたものと思われる。六間小路と記された絵図もある。

23 俵屋小路（たわらやこうじ）：古町通から東堀通に至る小路である。享保16年（1731年）の家並帳には、東堀とこの小路の角に「俵屋」という屋号の屋敷があったので、俵屋小路と呼ばれたと思われる。

にいがた下町（しもまち）路地散歩

古町通10～12番町



24 風間小路（かざまこうじ）：江戸時代からの小路名であるが、小路名の由来は不明。直線ではなく、東堀と古町通で食い違っていた。東堀と西堀の間は現在、拡幅され直線になっている。明治の町名改正では、横五番町通に改められた。

わしらは往生院で御祭堀（五葉堀）を見守っておるよ。どこにおるか、探しておくれ。

古町通10番町の佐藤菓子店の店先で発見！

住んでいる人たちの気持ちがこもった小路。ほっとします～。

いつもと違う小路を歩くと、なんだかどきどきして楽しいポンコ！

26 御祭堀（ごさいほり）：江戸時代、御祭堀という堀の両側に付けられた小路であり、古い絵図では「さい小路」「御葉堀」と記されることもあった。堀は明治の町名改正で五番堀とされたが、戦後になって埋め立てられ道路となった。今は「五葉堀」と記されることが多い。

28 木下小路（きのしたこうじ）：古町通から東堀通に至る小路である。明和5年（1768年）の家並絵図には、この小路下手七軒目の東堀通に木下九助の屋敷があった。これが小路の由来かどうか不明である。

長谷川雪旦「北国一覧写　出羽越後」より　天保2（1831）年頃の日和山

にいがた名所
日和山（12.3m）

東堀通13番町

2016年NHK
ブラタモリ新潟の
ロケ地ですぞ～

●長谷川雪旦の描いた日和山

船乗りが、出帆を決めるために天候や風向きを観測する高台を「日和山」といいます。新潟の日和山の場所は、昔の町名でいうと片原通洲崎町の下（シモ）の突き当たり、現在の東堀通13番町で、名所として賑わっていました。長谷川雪旦（古町5～7の項参照）の「北国一覧写　出羽越後」に収められた日和山の絵には、頂上の松や遠めがねをのぞく人、沖の船、ふもとの茶屋と町などが描かれています。絵の上方に描いてある丸い石は、船頭や水戸教（みときょう＝水先案内人）が使う「方角石」。現在日和山には、明治24（1891）年に奉納されたものがあります。

●川村修就が描かせた日和山

新潟の初代奉行・川村修就（ながたか）が嘉永5（1852）年に作らせた新潟の風俗絵巻「蟹の手振り（あまのてぶり）」には、日和山の脇を通って凍祭りへ向かう楽しそうな人々のようすが描かれています。この絵巻は新潟市歴史博物館みなとぴあに保存され、複製の一部を見ることができます。

浜へ向かう凍祭の行列。その明かりは佐渡からも見えたとか

かつては上の絵葉書のような船見櫓がありました

日和山から新日和山方面の眺め。手前には日和山共同墓地、砂丘の向こうは日本海。下は2008年に同じ位置から撮ったもの

日和山からの新潟港方面の眺め。手前は本町通14番町。下は2008年に同じ位置から撮ったもの

2015年の日和山

日和山は2009年に改修工事が行われ、名所として復活しました。2015年には新潟市民文化遺産にも登録されました。

GOOD DESIGN AWARD
2014年度受賞
みなとまち新潟・日和山　進化する日和山物語
審査委員の評価
住民自らが地域の潜在的な魅力を発掘し、整備にまでつなげたプロジェクト。現に賛同している「新潟の町・小路めぐり」との連携や、応募者の地域へのコミットメントの深さを評価されました。

みなとまちの象徴といえる方角石は、白山神社や曙公園などでモチーフに使われています。小路案内板や誘導サインなどにもついているので、探してみてください